

記録用紙の最近の主な改訂内容

競技運営委員会 競技部

(2016年3月改訂) 2016/03/31

1. No. 36 棄権届(棄権届を欠場届に名称変更)

(2016年2月改訂) 2016/02/14

1. No. 5-1 競歩審判記入用紙(18名分)(赤カードをレッドカードに修正)
2. No. 5-2 競歩審判記入用紙(40名分)(赤カードをレッドカードに修正)
3. No. 06 競歩審判記入用紙赤カード(赤カードをレッドカードに修正)
4. No. 07-1 競歩審判集計表(トラック競技用)(赤カードをレッドカードに修正)
5. No. 07-2 競歩審判集計表(道路競技用)(赤カードをレッドカードに修正)
6. No. 13 走高跳・棒高跳競技記録(JTOのサイン欄を2カ所追加)
7. No. 14 走幅跳・三段跳競技記録(JTOのサイン欄を2カ所追加)
8. No. 16 投てき競技記録用紙(JTOのサイン欄を2カ所追加)
9. No. 21 周回記録表(2種類あるため、枝番を追加)(横版をNo. 21-1に)
10. No. 28 グラウンドコンディション記録表(番号の重複により No. 27へ)
11. No. 28 男子 100mH, 女子 100mH の規格表記の訂正(84.0cm→83.8cm)
12. No. 34 上訴申立書(上訴審判員の名称をジュリーに修正)(受理者氏名欄(2カ所を追加)
13. No. 32 スタート記録表(YC, YRC 追加により、記入方法を修正)
14. No. 35 略語・略号(2016 修改正より略記号の一部を追加、日本語表記を修正)(ジュニア→U20、ユース→U18)(qR, r, qJ, YC, YRC, RC, >, ~)

(2015年10月改訂) 2015/10/22

1. No. 36 棄権届(①競技者名を競技者名(チーム名に変更)を追加、②記入

上の注意点(*リレーの場合は、種目・所属チーム名・理由を記載する)を削除、③受付時間を提出時間に変更)

(2014年2月改訂) 2014/02/18

1. No.13 走高跳、棒高跳 (科学計測装置確認欄に開始前・終了後を追加)
2. No.14 走幅跳、三段跳 (科学計測装置確認欄に開始前・終了後を追加)
3. No.16 投てき競技 (科学計測装置確認欄に開始前・終了後を追加)
4. No.19 監察員記録用紙(19-1, 19-2 の 163-4 を追記、水濠に注釈)
5. No.30 日本記録申請用紙に投てき物検査の確認欄を追加。
写真判定・ゼロコントロールテストの写真に対し、立会者・確認者のサインを添付するようにした。
6. No.31 日本記録申請用紙 (混成) 同上
7. No.37 科学計測装置確認書 (EDM, VDM) 国際競技会等で必要に応じて使用する。
(国内大会はフィールド記録用紙下部に記載しても良い)
8. No.38 アップライト申告書 国際競技会等で必要に応じて使用する。
(国内大会はフィールド記録用紙に記載しても良い)

(2013年3月改訂) 2013/02/10

1. No.07 競歩審判集計表 (7-1, 7-2) の失格理由をロス・オブ・コンタクトで3名以上の赤カード (警告) で失格 (DQ)、その理由は (W1) とします。同様にベントニーの場合の失格理由は (W2)、ロス・オブ・コンタクトとベントニーで3名以上の赤カードの場合の失格理由は (W3) です。競歩審判主任が行う残り100mからフィニッシュまでの失格理由はロス・オブ・コンタクト (W4)、ベントニーの場合 (W5) を提案します。
2. No.13 走高跳、棒高跳 (科学計測装置確認欄の改訂)
3. No.14 走幅跳、三段跳 (科学計測装置確認欄の改訂)

4. N o. 16 投てき競技（科学計測装置確認欄の改訂）
光波計測を科学計測に変更しました。
5. N o. 19 監察員記録用紙(19-1, 19-2 の内容と適用するルールの特項を修正した。水濠がトラックの内側にある場合のイメージ図を追加しました。
6. N o. 28 記録公認申請用紙から気象情報を削除しハードル・投てき物の規格を記載しました。
7. N o. 30 日本記録申請用紙から気象情報を削除、競歩競技に J R W J 1 人以上のサインをお願いします。（欄を追加しました。）
8. N o. 31 日本記録申請用紙（混成）から気象情報を削除しました。
9. N o. 32 不正スタート記録用紙を改訂しました。
10. N o. 35 略語・略号及び略号例等を改訂しました。

参考資料 科学計測装置確認用紙、棒高跳アップライト（支柱移動申告書）
監察員競技進行管理表、監察員組分担当表

(2012年9月改定) 2012/09/26

1. N o. 19 監察員記録用紙
ルールの条項を見直した。監察記録を競走（歩）共通・障害物・リレー一種目の順（ルール条項順）にした。
2. N o. 35 略称、略号について
室内ジュニア日本（世界）記録等の略号及び失格の理由（条項）を修正した。

(2012年3月改訂) 2011/02/13

1. N o. 19 監察員記録用紙
審判長判定区分を指導、注意を除き「失格」「救済」の2区分にした。この記録用紙は、監察員の報告を基に陸連主催、共催大会では必ず記載してください。
2. N o. 34 上訴申立書
上訴理由欄の競技規則条項を記載する部分及び上訴申立書受理者氏名欄を削除した。（再提出）
3. N o. 35 略称、略号について、記載順序の変更と I A A F に準じて失格を「DQ」に変更した。
4. N o. 14'、N o. 16' N o. 25' に関するフィールド競技の国際競技会用

記録用紙は、ルール改正により廃止した。

(2011年3月改訂) 2011/03/22

1. No.22 リレーオーダー用紙
記入欄の及び説明文章の修正をした。
2. No.32 不正スタート用紙
警告欄の追加をした。
3. No.34 上訴申立書
上訴理由欄の競技規則条項を記載する部分及び上訴申立書受理者氏名欄を削除した。

(2010年9月改訂) 2010/09/07

1. No.05 競歩審判記入用紙（審判員の集計用）日本語/英語表記でIAAF様式に統一して18名、40名記入用2種類作成。
2. No.06 競歩審判記録用紙（赤カード）日本語/英語表記でIAAF様式に統一した。（赤色の厚手の用紙に印刷してご利用下さい。）
3. No.07 競歩審判集計表（競歩記録員の集計用）日本語/英語表記でIAAF様式に統一しトラック用と道路競技用2種類作成。

(2010年度改訂)

1. No.15 混成競技記録得点表
2010ルール改正にともない記録表に風向風速が必要な競技種目について、+2.0mを超えたときの扱いを記載した。
2. 光波測定装置の確認
(No.13, No.14, No.14', No.16, No.16') に光波測定装置の確認欄を追加した。（光波測定器を使用する場合に該当者がサイン）
3. 写真判定装置のゼロコントロールテスト用紙へのサインは、当分の間ゼロコントロールテスト用紙に確認日時、審判長、スタータ主任、写真判定主任がサインすることにして、記録用紙は作成しない。
4. 規則第145条「失格」について
トラック競技は監察記録用紙に記載する。それ以外は成績記録用紙の「備考欄」等に失格の理由を記載する。
5. No.35 略語・略号について

- ・ 表記を I A A F 表記と同様に修正した。
例：ジュニア日本記録 (National Junior Record)
- ・ 競歩競技については、失格の理由を、D Q 1、D Q 2、D Q 3 を W 1、W 2、W 3 にした。 (No. 07)
- ・ 略号の D N S を欠場としたため、跳躍、投てき競技の記録用紙の凡例を修正した。 (No. 13, No. 14, No. 14' , No. 16, No. 16')

(2007年度改訂)

1. No. 35 略語・略号 (2006/12/12)
救済および審判長等の決定による “ R ” を追加した。

(2008年度用改訂)

1. No. 05 競歩用・様式 3 - 1
種目の部分に “(男・女)” “m競歩” の文字を追加した。
2. No. 11 一覧表に中学、高校生の学年を記入する。
2. No. 21' 周回記録表
縦書きのものを追加した。
3. No. 25 走幅跳・三段跳風向風速記録表
ベスト 8 をトップ 8 に訂正した。
4. No. 25' 走幅跳・三段跳風向風速記録表
No. 25 の試技 5 日目と 6 回目の間にトップ 8 試技順の欄を追加した。

(2006年度改訂)

1. No. 07 競歩用__様式 (1)
大会コード、会場 (競技場) コードを追加した。
2. No. 30 公認申請書 (1)
競技場コードを 7 桁から 6 桁に修正した。
3. No. 31 公認申請書混成
競技場コードを 7 桁から 6 桁に修正した。

(2005年度改訂)

1. No. 02 競走（歩）競技順位判定表
記録者を審判員に順位判定と統一した。
2. No. 11 トラック種目記録表（一覧表）
レース区分のあとに組を追加した。
3. No. 12 リレー種目記録表
レース区分のあとに組を追加した。
4. No. 13 走高跳・棒高跳記録表
期日（年月日）を開催日のみにして組を追加した。
5. No. 14 走幅跳・三段跳記録表
期日（年月日）を開催日のみにして組を追加した。
6. No. 19 監察員記録用紙
観察員を監察員に訂正した。
7. No. 32 不正スタートの記録表について
フライングを不正スタートに訂正した
8. No. 35 略語・略号について
2005・2006 ハンドブックと同じ表現とした。
9. No. 36 棄権届
診断書の提出を不要とし棄権理由を記入する。
また、状況により押印、または自署でよいこととした。

以下余白